

	課題分析	授業改善策
国語	・継続して学習に取り組むことに消極的な生徒が多い。昨年度末にアンケート調査を行った。その結果、「国語の力、授業内容が定着しているのか分からない」という回答が多くあった。 ・課題として提出させているワークも解答をまる写ししてしまうなど、基礎学力の定着が実感できない学習方法をしている姿も見受けられる。 ・昨年度から引き続き当学年では自分の意見を持ちそれをまとめることが苦手な生徒が多く、言葉に詰まってしまったり、「書くこと」では中々手が進まなかったりすることもある。	・毎単元終了後に振り返りシートや授業内でワークを使用し、実際に力が身につけているのかを授業者も生徒も確認をする。全体的に習熟度が低いと思われる問題等に関しては、授業内で調整をする。また、ワークだけではなく ICT 機器を使用して国語に対し興味関心を持ち学習に取り組めるように工夫をする。 ・毎授業において、自分と他者の意見を比べながら、自分の考えを深める時間を必ず確保し、相手に自分の意見を伝えようとする姿勢をつくる。 ・本校の自習室の利用を促し、放課後の時間を活用しながら着実な基礎学力向上を目指す。
社会	・基礎的な知識・技能を活用して思考・判断したことを表現することが苦手な生徒が一定数いる。 ・積極的に発言する生徒がいる一方、話し合いに消極的な生徒もいる。	・意見をまとめる際に、知識や技能を活用する場面を設定し、根拠を示すように個に応じた指導を適宜行う。 ・対話的な活動や教え合い活動の際には、ペアやグループに応じた指導を適宜行う。
数学	・基礎的な計算力が身に付いていない生徒がいる。 ・数学に苦手意識があり、意欲的に取り組むことができない生徒がいる。	・小テストを行う前に、出題の内容を提示し、事前に家庭で学習する習慣を身に付けさせる。 ・自分で解答を考えたり、仲間と相談しながら協働的に学んだりしている場면을褒めるなどして、意欲を高める工夫をする。
理科	・授業に対する熱意が低い。また、定期考査の結果から、学ぼうとする気持ち、向上しようとする気持ちが少ない。 ・向上心の強い生徒、努力をする生徒もいるが、全体的に少ない。	・実験の回数を増やして、勉強を楽しんでいるような授業の実施。 ・学習することで成績に繋がるような問題集の提示、およびテストの実施をすることで、学習すると成績が伸びることの実感をさせる。
音楽	・歌唱等の活動は意欲的に取り組む生徒がいる一方、音楽の学習への意欲が低い生徒が多く、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することが困難な生徒や歌うことが苦手な声を出すことに消極的な生徒が多い。 ・定期考査の結果から、楽曲を構成する基礎的な要素（知識）の理解が低い、またはできていない生徒が多いので、中位および下位の底上げが必要である。	・歌唱の活動をする上で、基礎的な要素（知識）を理解することや楽曲を聴いてそのよさを表現することは大切なことであることを理解させ、学習意欲を向上させる。 ・ワークを使用し、小テスト的なものを実施する等、学習習慣や基礎学力の定着を図る。また、教室の ICT 機器やタブレットを活用し、生徒の興味関心を引き出して、学習意欲を高める。

美術	・意図して表現することやアイデアをじっくりと練ることを苦手とする生徒が多い。 ・道具や材料の使い方に課題のある生徒も多い。	・多様な作品群を鑑賞し、作者の意図に触れさせ、多くの表現方法を学ぶ機会をつくる。 ・生徒がのびのびと表現できるように、道具や材料の適切な使い方やその特性を個別に指導したり、掲示物で表記したり、何度も振り返り確認できるようにする。
保健体育	・全身持久力やスピード、筋力等、全体的に体力面での課題がある。 ・経験の乏しさからハンドアイコーディネーション能力が全体的に低い。	・体力面においての課題は授業の始めに毎回体力向上の内容（ランニング・筋トレ）を組み入れ年間を通じて向上を図る。 ・球技種目の際には単元に偏った動きのみにならないよう、ボールを使った様々な動き（一人、ペア、グループ）を取り入れ実践できるようにする。
技術・家庭	・日常の生活体験が技家の学習には大切であるが、体験が少ない生徒もいるため、知識や理解力に差が生じている。 ・創意工夫や想像力を高める必要がある。	・授業において発想や工夫を重要視する教材を使用して、生活体験の差に影響されないように努めている。 ・アイデアや創意工夫を製作活動に反映させて、製作の楽しさを体感させ学習意欲を高めている。
外国語（英語）	・簡単な動詞や形容詞の綴りが定着していない生徒が一定数いる。 ・自分の意見を整理して、相手に伝える活動を苦手とする生徒が多くいる。	・語彙の定着を図る小テストを授業内で設定する。また、ICT 機器を用いてクイズ形式で学習を進めることで意欲的に学習に取り組むための工夫をする。 ・生徒の興味のある内容についての場面を設定し、自分の意見を整理して、相手に伝える活動を多く取り入れる。